

きずな

2012年 6月21日

NO 888

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

6月11日、井原市議会6月定例会が開会しました。会期は6月25日までの15日間です。一般質問は、6月13日、14日、15日の3日間行われました。森本議員は14日に質問しました。質問と執行部答弁の概要は次のとおりです。

森本ふみお議員の質問の概要

◆小・中学校、市立高校の2学期制検証委員会の設置を早めては

前回の2月定例会市議会で、学校3学期生の復活を提言しました。片山教育長は、「平成24年度、中学校指導要領全面実施後の12月以降に、大学の先生などを含めた検証委員会を編成し、平成25年度から2学期制の見直しを含めた検証を行いたい」とお答えになりました。

上記の質問以後、教育関係者や保護者から、「12月以降と言わず、早期に編成し、今年度中に結論を出すべきだ」という声を聞きます。検証委員会の設置を早めてはどうか。

◆美星地区、芳井地区の公共交通のバス運行時間の改善・充実を

美星、芳井両地区のバス利用者、特に高校生やその家族から、帰宅時間帯の増便や、最終便の時刻繰り下げを望む声が多く、関係高校生のアンケートでも、このことが数字的にもはっきり出ています。

これらの声に応え、早急に改善・充実してはどうか。

◆合併後の美星、芳井両支所の大幅人員削減と課の統合で市民サービスの低下を招いています。市は、この現状をどう考えていますか

以前にも、この問題を取り上げた経緯があります。井原市、美星町、芳井町の合併時に比べ、年々、美星、芳井両支所の人員の大幅削減と課の統合が進み、市民サービスの低下をきたしているのが実情です。

市は、合併前後に「合併しても市民サービス低下を招かないよう努力する」と言われていました。実際にはサービス低下を招いているではありませんか。当時のこの約束をどう考えておられるのでしょうか。

◆中学校での柔道必修化に伴う事故の対策と対応の強化及び、国からの調査に対して井原市としての改善点の具体的内容は

平成15年から平成23年の9年間、毎年、市内の3中学校で、部活などで柔道をしていて、骨折や捻挫などの事故(けが)が起きています。今年度から中学校で武道が必修化されました。柔道を選択した学校では、事故を起こさない安全対策と対応の強化が求められます。具体的にはどう取り組むことにしていますか。

また、3月9日付の文部科学省スポーツ・青少年局長からの「柔道必修化に伴う柔道の安全管理の徹底について」(依頼)が届いており、井原市も4月

次ページ左上へつづく

森本議員の質問に対する執行部答弁の概要

本年度より、中学校において新学習指導要領が全面実施となり、学ぶ内容が充実し、標準授業時数も35時間程度増加している。教育委員会としては、新しい教育課程がどのように実施されているか、本年度の各学校の教育課程実施状況、課題等を十分把握することが必要であると考えている。

また、土曜授業の実施等について検討を初めている都市も増えているようです。

本年度中に大学教授など学識経験者を含め15人程度の委員の人選を行い、来年度早々に検証委員会を立ち上げ、最低3回程度委員会を開催し、来年12月末までには結論を出したい。

昨年度、バスの利用状況把握のため、市内全バス路線の乗降客の乗り込み調査や、利用者を対象に聞き取り調査を実施。更に、高校生のバス利用実態把握ため、高校生を対象にアンケート調査を実施。

井原バスセンターの最終便を、美星方面は、19時台を増便。芳井方面は、18時30分を30分程度繰り下げて19時台にし、今年10月から運行したい。

これまでの支所における組織や職員配置の見直しは、支所での事務量等を勘案して対応してきたほか、本庁等を含めた検討等を行い、新たに増える行政需要も考慮しつつ効率的な行政対応となるよう全庁的な事務事業の見直しを進めた結果による。

今後は支所と本庁の連携を更に密にし、サービスの維持・向上に努める。と、これまでの答弁を繰り返すことに終始。行政サービスの低下をきたしていることはいっさい認めませんでした。



武道の指導における安全管理のための研修会を5月29日に開催。これは県が実施している講習会に加えて、市独自でより一層生徒の安全な指導の徹底を図るために開催したもの。

この研修で、第一に、授業に入る前に施設、設備、用具等について事前の安全確認、二つ目に万一事故が発生した場合の事前の備えや緊急連絡体制の整備について確認した。

実際の授業の中で安全な指導を行うために、二つの点に留意することを確認。一つは生徒の体調等に十分注意すること。二つ目は多くの生徒が初心者であることを踏まえた段階的な指導を行うことで共通理解をしました。今後も引き続き事故が起きないように学校に対して安全管理の

次ページ右上へつづく

前ページ左下よりつづく

27日現在で取りまとめています。
この調査票での改善点や指導体制チェックリストは、具体的にはどのような内容ですか。

◆今年度から小田川の堤防決壊を想定し、避難訓練を実施します。市として獲得目標と全体構想をどう立てていますか

今年度初の試みとして、小田川の堤防決壊を想定した避難訓練を芳井地区で行うことが明らかにされています。市として、この避難訓練での獲得目標と全体構想をどう立てていますか、具体的な内容をお尋ねいたします。

◆老朽が進んでいる市立高校の校舎についての今後の方針は

これまで、この校舎についてどうされるのかとの質問は、市議会で何回か出されています。しかし、答弁では、先の見通しは立っていません。

改めて、その後の検討結果と、いつまでもズルズルと結論の引き延ばしをするべきではないと考えます。具体的解決策をお考えでしょうか。

もし移転するとすれば、移転可能な最低条件はどのようなものになりますか。移転先にNTT借り上げはできないか。

◆孤立死・孤独死などの悲劇を生む困窮の構造にメスを

全国的に孤立死や孤独死の報道を、新聞やテレビで見聞きします。井原市でも孤立死・孤独死ということではないかもしれませんが、独居老人の死亡が、福祉事務所がつかんでいる事例だけでも、平成21年に2件、22年に2件、23年に3件あります。

市として、これらの死亡原因をどう分析されていますか。この7件については、死亡原因は様々でしょうが、生活保護の受給や社会保障の遅れが原因で死亡というような悲劇を生んではいけません。

悲劇を生む困窮の構造にメスを入れ、井原市から、孤立死・孤独死は絶対出さないという取り組みを強める必要を痛感します。

市として、今後の取り組みをどうすればいいとお考えでしょうか。

◆西江原町の立戸公園にドームを建設し、全天候型公園に

西江原町の立戸公園は、多目的での利用が頻繁に行われています。この公園を、雨が降っても利用できるようにドームを建設し、全天候型公園にグレードアップしてはどうですか。

◆市議選、市長選の「選挙公報」を市のホームページに掲載を

全国的には「選挙公報」を市のホームページに掲載している自治体があります。

井原市も、若者を含め、一人でも多くの有権者に、立候補者の政策等が浸透し、ここのところ、毎回下がっている投票率が上昇することを想定し、今までどおり各戸へ「選挙公報」を配布することと合わせ、市議会議員選挙と市長選挙の「選挙公報」をホームページに掲載するよう条件整備をしてはどうですか。

前ページ右下よりつづく

徹底を図るよう指導していく。

申し訳ありませんが、文科省の調査票に対する答弁は、紙面の都合で割愛させていただきます。

訓練の獲得目標(ねらい)は、①自助意識の高揚、②共助の意識を持っていただく、③適切な避難経路の作成や計画作り。

全体構想は、8月19日実施。小田川と宇戸川の合流地点での河川の氾濫による堤防の決壊のおそれを想定した訓練。そのほか講演や体験型訓練をする。対象地区は、与井、佐原、梶江、築瀬の486世帯。参加人員は対象地区から20~30人、その他の自治連合会から各2・3人程度。全体の訓練参加人員は160人程度を考えている。

現在のところ方向性の決定には至っていない。課題等がたくさんあるので、関係機関との協議を進めていきたい。

クリヤーすべき(移転可能な最低)条件は、校舎の安全性確保と生徒の40%がアルバイトをしている特殊性や通学区域の広さを考えると通勤通学の利便性確保の点ということが重要条件。NTTについては、以前打診したが断られている。

孤独死は、地域での人間関係の希薄化や地域での絆が弱まっていること、或いは、少子・高齢化にともなう核家族化の進展によるところが一因と考えられる。

地域での助け合いや見守りを語るため、現在、民生委員さんによる訪問や、配食サービスによる見守りのほか、社会福祉協議会での近所福祉ネットワーク活動により、福祉委員さんを中心とした見守りや地区社会福祉協議会での友愛訪問や配食サービス、ふれあいサロンの開催により、高齢者とのふれあい交流など地域での活動支援を行っていただいている。



今後も民生委員さんや社会福祉協議会と連携し、一人暮らし高齢者等の孤独、孤立感の解消に努めていく。

全天候型のメリットは非常に大きいと思われます。しかし、ドーム整備に当たっては多額の整備費用(浅口市のビッグハットが約7億円)がかかること、夜間照明やバックネットなどの既存設備との兼ね合いもあり、現状では困難であると考えます。

本来なら選挙管理委員会の委員長が答弁する訳ですが、選挙管理委員会から意向調査していますので、私(市長)から答弁いたします。



「今後年内に行われる近隣の県知事選挙や市長選挙でのホームページ掲載の運用状況、問題点の有無等を見ながら、来年の市議会議員選挙での実施に向けて技術的な課題も含めて検討される」と伺っています。

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます